

令和 5 年度進捗評価シート
大館市歴史的風致維持向上計画（平成 29 年 3 月 17 日認定）
（最終変更 令和 6 年 1 月 24 日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	3
2 一般国道7号(豊町・長倉・桂城・有浦地区)電線共同溝整備事業	4
3 主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	5
4 主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業	6
5 道路美装化整備事業	7
6 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	8
7 大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業	9
8 大館神明社保存補修事業	10
9 歴史的町なみ調査事業	11
10 大館城下の町名標柱整備事業	12
11 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業	13
12 歴史案内人育成事業	14
13 小・中学校社会科副読本作成事業	15
14 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	16
15 地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	17
16 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業	18
17 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	20
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、防災に関する取り組みなど	21
3 文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 歴まち推進へ連携 大館で会議 東北の認定都市一堂に	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 HACHI100プロジェクトについて	24

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
計画実施のための組織体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進体制は、建設部まちづくり課が事務局を務め、庁内の経営会議や、関係課で構成する検討会等と連絡調整を行う。また国や県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、大館市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進や計画変更、事業の推進について協議を行う。必要に応じて、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図り、都市計画審議会や文化財保護審議会等への報告や助言を得ていく。

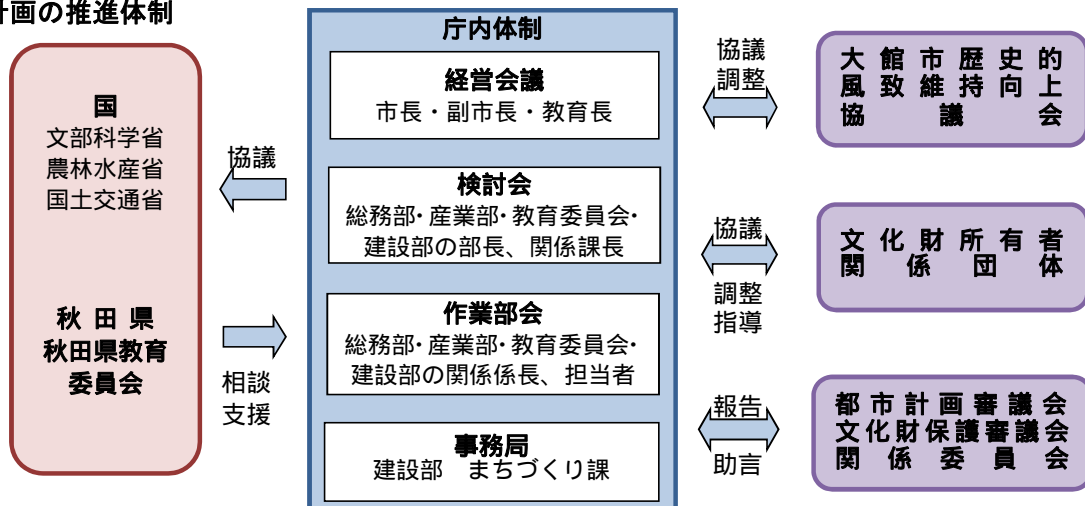
定性的・定量的評価(自由記述)

大館市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、大館市歴史的風致維持向上協議会を開催した。令和5年度の取り組み状況、景観計画の策定、共同研究の成果などについての報告・協議を行った。又、今年度は大館市にて東北歴史まちづくり推進会議を開催した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護、歴史研究会及びまちづくり協議会など各地域の関連団体と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

	名称	開催日
1	歴史的風致維持向上協議会	令和6年3月22日
2	景観まちづくり推進協議会	令和5年12月15日、令和6年3月21日
3	文化財保護審議会	令和6年3月22日
4	東北歴史まちづくり推進会議	令和5年10月16日～17日
5	歴史まちづくり2023シビックプライドフォーラム	令和5年11月4日



歴史的風致維持向上協議会
(令和6年3月22日)



歴史まちづくり2023シビックプライドフォーラム
(令和5年11月4日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1)都市計画法との連携 (2)景観法との連携 (3)屋外広告物法との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の重点区域内で行う事業と連携しながら、構想を実現化するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民協働で愛着が湧き、誇りを持てるまち育てを推進する。近年の市中心部の空洞化や、少子高齢化による市街地を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成19年に策定したマスタープランにおけるまちづくりの課題や方針について見直しを図る。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
地域の特色を活かした良好な景観の保全と創出を目指し、令和5年12月15日に景観まちづくり推進協議会を設立、令和6年3月21日には第2回推進協議会を行った。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	策定にあたり、地域住民と一緒に景観づくりに取り組み、景観に対する意識を高め誇りと愛着が持てるまちづくりを目指す。		
状況を示す写真や資料等			

○良好な景観を形成する施策の策定

		令和5年度												令和6年度												令和7年度											
年度・月		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月														
業務内容	1. 基礎調査の把握及び整理	①基礎情報の把握	→																																		
		②上位計画及び規制状況の把握・整理	→	→																																	
		③景観資源と景観阻害要因の把握		→	→																																
		④地域の景観特性と課題の整理			→	→																															
2. 景観計画の作成	①景観計画区域の検討(重点地区を含む)						→	→																													
	②景観計画区域における景観形成方針の検討						→	→																													
	③行為の制限に関する事項の検討(屋外広告物を含む)							→	→																												
	④景観形成基準の検討(屋外広告物を含む)								→	→																											
	⑤景観重要建造物、景観重要樹木の指定方針の検討									→	→																										
	⑥その他、景観計画に関する事項の検討										→	→																									
	⑦景観重点地区に関する事項の検討											→	→																								
	⑧景観形成の推進方策等の検討												→	→																							
3. 関係者意見交換	市民アンケートの実施		→	→																																	
	関係団体との座談会の開催			→	→																																
	重点地区での座談会の開催(地区公民館)												→	→																							
	景観教室の開催(小学校)※地区探訪学習と連携									→	→																										
	パブリックコメントの実施、回答作成																																				
		策定目的・スケジュール アンケートの内容確認				アンケート・座談会報告 市民が考える景観とは				中間報告 大館らしさの景観ルール				計画素案の内容確認 座談会等の報告				計画案の内容確認 パブリコ結果報告																			
4. 協議会・作業部会	大館市景観まちづくり推進協議会																																				
	推進作業部会(庁内)																																				
																											</										



第1回大館市景観まちづくり推進協議会
(令和5年12月15日)



第2回大館市景観まちづくり推進協議会
(令和6年3月21日)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業		
計画に記載している内容	大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。 令和2年度に完成予定の新庁舎との調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
大館城本丸跡の修景整備を進めるにあたり、“歴史と未来が交差する水と緑の城址公園”の整備方針に基づき、修景整備実施設計に係る現況測量、公園内にある既存施設の解体に係る調査及び実施設計を完了した。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		基本計画に基づき城址公園にふさわしい景観形成を目指すにあたり、市民や関係団体等と意見交換を積み重ね熟度を高める。	

状況を示す写真や資料等

○基本計画

整備方針:歴史と未来が交差する水と緑の城址公園



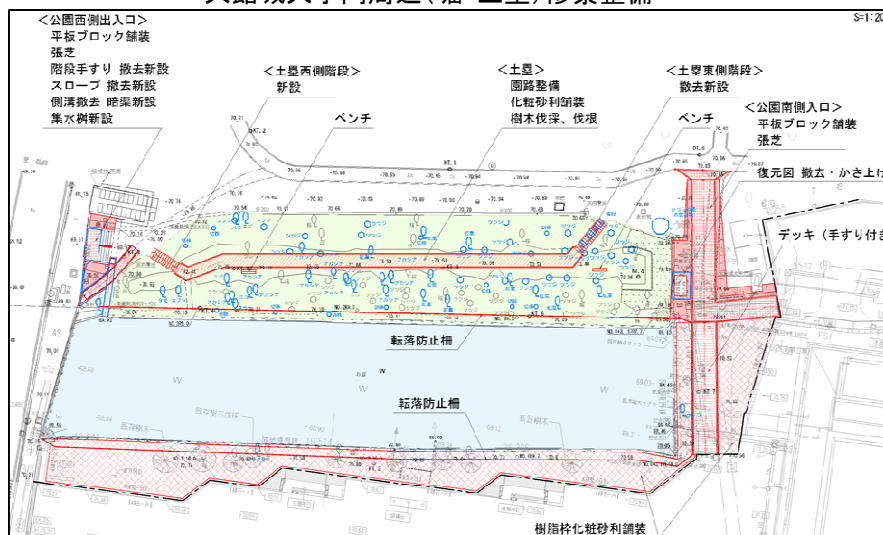
整備前(現在)



整備後(鳥瞰図)

○令和6年度実施(予定)

大館城大手門周辺(堀・土塁)修景整備

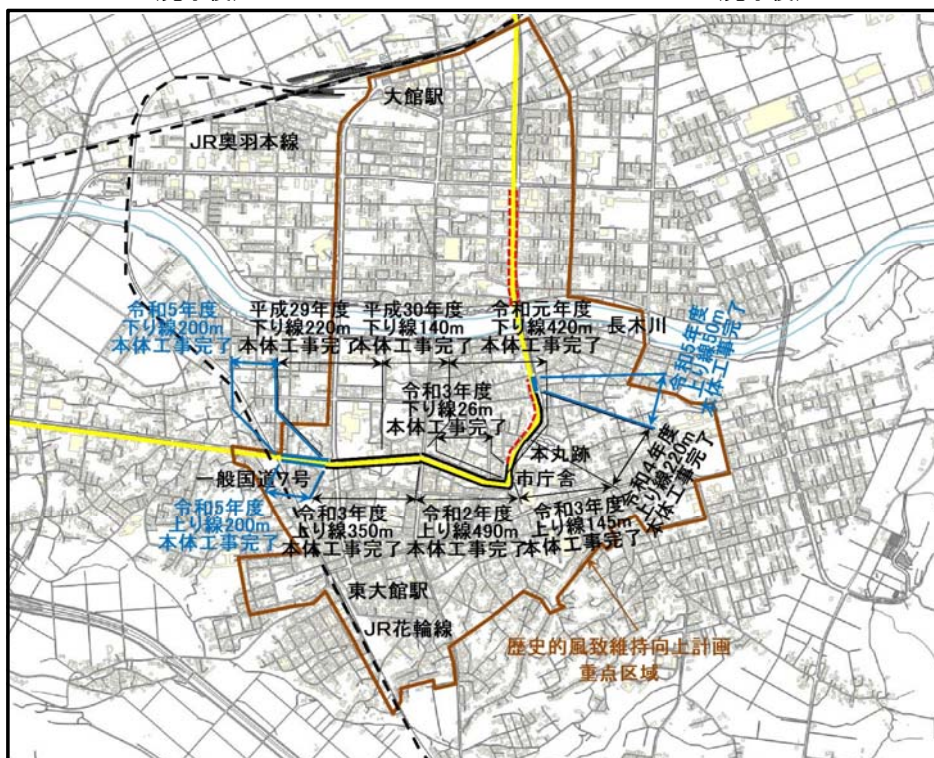


評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
一般国道7号(豊町・長倉・桂城・有浦地区)電線共同溝整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	道路関係／国直轄／電線共同溝事業		
計画に記載している内容	一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神明社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
平成29年度～令和4年度 令和5年度 令和6年度以降		上り線1,205m、下り線806m電線共同溝本体工事(管路)完了 上り線250m、下り線200m電線共同溝本体工事(管路)完了 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進	
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

豊町地区電線共同溝本体工事【上り線】
(完了後)豊町地区電線共同溝本体工事【下り線】
(完了後)

無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-3

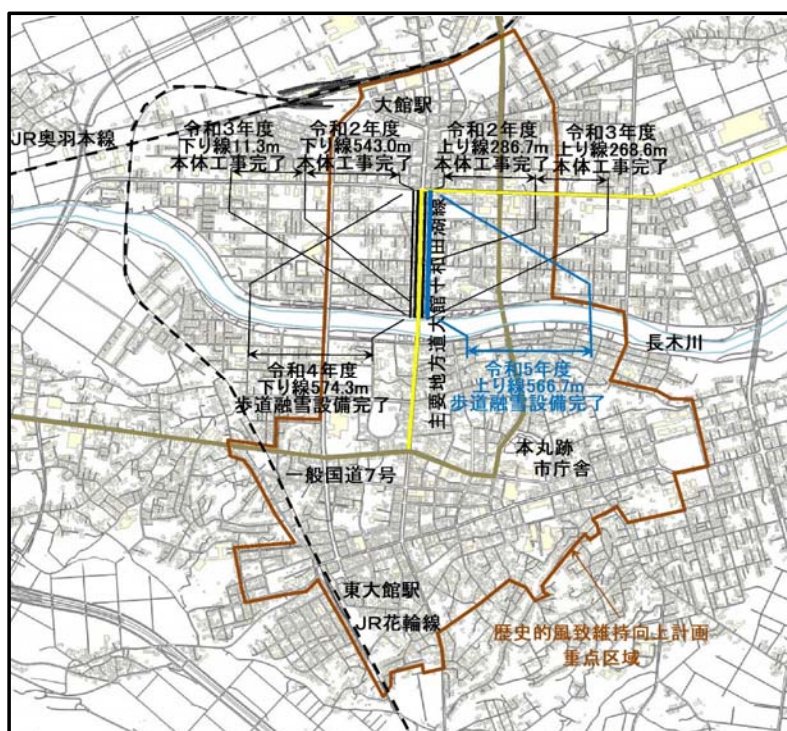
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成18年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	主要地方道大館十和田湖線は、大館神社社例祭時には山車合同運行の順路となり、また伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
～令和4年度 令和5年度 令和6年度以降	上り線555.3m、下り線554.3m電線共同溝本体工事(管路)全線完了 下り線574.3m歩道融雪設備工事完了 上り線566.7m歩道融雪設備工事完了 電柱の抜柱		
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



歩道融雪設備工事(着手前)

歩道融雪設備工事(完了後)
抜柱は令和7年度以降に施工予定

無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	無電柱化推進計画事業		
計画に記載している内容	主要地方道大館停車場線は、市の玄関口である大館駅に近接して、大館市観光交流施設「秋田犬の里」が整備されたことから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
～令和4年度 令和5年度 令和6年度以降		上り線431.0m、下り線322.8m電線共同溝本体工事(管路)完了 上り線199.0m、下り線297.0m電線共同溝本体工事(管路)完了 歩道部舗装及び抜柱を推進	
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

電線共同溝本体工事【上り線】
(完了後)電線共同溝本体工事【下り線】
(完了後)

無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
道路美装化整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業		
計画に記載している内容	大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が入り組んでいる。城下町を巡るまち歩きをする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美装化を行う。また、街路樹の樹形を整えとともに、植樹帯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
上町地区(L=153.4m)、幸町地区(L=76.2m)の道路美装化について、良好な道路空間と景観を確保するため、路面舗装の美装化を完了した。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○道路美装化(上町地区・幸町地区)

着 工 前

上町地区

完 成



着 工 前

幸町地区

完 成



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目			現在の状況
大館城跡周辺の土居・緑地保全事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	北側の市街地から大館城を望むと、東の重要文化財八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
大館城を囲む堀や土塁のあった場所で地元住民により守られ現在1本だけ残っているヤナギ(蛇柳:ジャヤナギ)について、令和4年度は剪定作業、令和5年度は防護柵を更新した。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		令和3年度に策定した桂城公園修景基本計画に基づき、城跡の桜について、老木が大多数を占めることから、樹種や補植を含め、樹木医の意見を聞きながら保全に努める。	
状況を示す写真や資料等			

○大館城跡周辺の緑地保全

ジャヤナギ周辺の防護柵を更新

着 工 前



完 成



「蛇柳」守る柵一新
歴まちで景観改善
シロヤナギの周りも

大館市 大館市

大館市中城地区で火つけの守り神として祭られたヤナギ(蛇柳)が一新された。踏切り防止柵が一新された。踏切り防止柵が一新された。踏切り防止柵が一新された。

大館城を囲む堀や土塁があった場所、かつて多数のヤナギが存在し、駐車場整備に伴い1本だけ残った。秋田藩主佐竹氏の久保田城から移植されたとの説もあり、市は2021年度から歴史まちづくり事業で保全している。老朽化した鉄柵を撤去し、ブラスチック製の柵を周囲に設置した。

蛇柳は高さ15m、根元周り3.8m、地面から1.2m付近で二股に分かれている。言い伝えによると、1909年秋ごろの台風で倒れた樹木の根元から芽を出したとされ、それに基づくと樹齢110年を越す。

大館城を囲む堀や土塁があった場所、かつて多数のヤナギが存在し、駐車場整備に伴い1本だけ残った。秋田藩主佐竹氏の久保田城から移植されたとの説もあり、市は2021年度から歴史まちづくり事業で保全している。老朽化した鉄柵を撤去し、ブラスチック製の柵を周囲に設置した。

蛇柳の周囲に設置された柵(大館市中城)

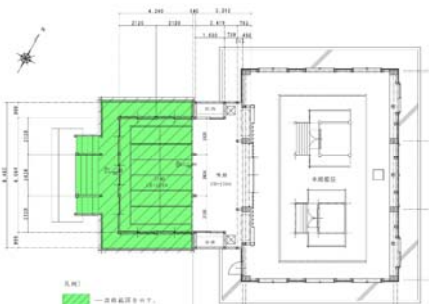
樹齢約200年のシロヤナギは枝折れが見られるため、館城本丸跡(桂城公園)の修景整備の一環で、本年度地盤のふもとを掘削し土壌の堆積物を除去する予定している。

立ち入り防止柵と支柱が設けられたシロヤナギ(桂城公園)

掲載紙：北鹿新聞
掲載日：令和5年8月15日

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	重要文化財の本殿2社を保護する覆屋は、老朽化が進んでいることから、本殿を保全するための対策に取り組む。 覆屋の改修にあたっては、できるだけ参拝者が本殿を拝観しやすい構造も考慮しながら、本殿を安全に管理できるように整備を行う。あわせて重要文化財への延焼を防ぐ防火対策の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
令和5年度は、拝殿の改修(面積 28.55㎡)で、小壁仕上、床改修、耐震補強、建具等の工事を完了した。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○八幡神社拝殿改修工事   着工前(外観) ⇒  完成後(外観)  着工前(内観) ⇒  完成後(内観)			

状況を示す写真や資料等

A close-up photograph of the roof structure of a traditional Japanese building. The image shows dark wooden beams and a copper-colored metal finial. The background is filled with the green foliage of pine trees.

A close-up photograph of a damaged roof edge. The dark, possibly asphalt, roofing material is missing, revealing the underlying wooden structure. Several wooden rafters are exposed, some of which are broken or splintered. Debris, including small pieces of wood and what appears to be a piece of a pipe or vent, is scattered along the edge. In the background, a dense line of green evergreen trees is visible against a bright, overcast sky.

完成後(屋根改修)

○令和6年度実施(予定)



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
歴史的町なみ調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業
市単独事業

計画に記載 している内容	城下町を中心とする市街地には、度重なる大火を免れた歴史的建造物が残っているが、これまで十分な調査が行われず、詳細な内容が把握されていないため、建築様式などの詳細調査を行う。 歴史的建造物などの建築工法の調査や修理には、高度な専門知識が必要であるため、ヘリテージマネージャーの育成を目指すとともに、その養成活動に対して支援を行う。
-----------------	--

定性的・定量的評価(自由記述)

平成30年度にヘリテージマネージャーの資格を修得した会員で構成する「大館歴史的建造物研究会」は、引き続き歴史的建造物調査やスキルアップ講座などの活動を行った。

- ・歴史的建造物詳細調査(2件)、歴史的建造物報告書作成(2件)

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	ヘリテージマネージャーで構成する団体と、歴史的建造物の保全活用や、まちなみ景観等の推進及びヘリテージマネージャーの養成活動に、引き続き一緒に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

○大館歷史的建造物研究会(活動実績)

	活動日等	調査等場所	活動内容
1	令和5年10月11日	宮嶋家住宅	歴史的建造物詳細調査
2	令和5年10月23日	小松家住宅	歴史的建造物詳細調査
3	令和5年11月29日	大館市中央公民館	第1回大館歴史的建造物研究会 (調査結果の報告等)

歷史的建造物調査報告書

「小松家住宅」

令和6年3月

大館歷史的建造物研究会

令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金

文化庁

[illegible]

植物は土壌と密着して、根は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力で地味は得意とされている。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。	植物は土壌と密着して、根は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力で地味は得意とされている。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。
環境・特徴点	植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。
植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。	植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。 植物の根の伸長と土壌との関係とされている。根の伸長は土壌の層々状構造にすみつきながら、土質の不均質さを克服しようとする。空間利用時にはこの能力が活かされている。
写真 (下段に写真の 内容等の説明 をつける)	

歷史的建造物詳細調查報告書「小松家住宅」

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和5年度		評価対象年度
現在の状況		項目
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手		大館城下の町名標柱整備事業
事業期間	平成30年度～令和6年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業	
計画に記載している内容	大館城下の名残がある町名は現在も数多くあるが、大館城の位置や規模のほか、町名の由来があまり認識されていないため、QRコード付の町名板の整備を行う。 まち歩きの見学性の向上を図るため、形状や意匠を統一する。	
定性的・定量的評価(自由記述)		
平成28年度より整備を進めているどこでも博物館(史跡標柱)と連携を図り、大館城下に残る町名や地名1箇所、歴史的建造物3箇所、名所6箇所に標柱を設置した。		
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	大館城門跡や歴史的建造物等に設置した標柱を市民や来訪者が楽しんで巡る歴まち散歩ルートを設定する。	

状況を示す写真や資料等

○どこでも博物館(史跡標柱)との連携

- ①かねてより整備中の「どこでも博物館」の標柱とデザインの統一化
- ②多言語翻訳(英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語)対応
- ③QRコードより詳細説明文、多言語翻訳及び写真等の情報を提供
- ④WEB情報を「どこでも博物館」のホームページに掲載



○どこでも博物館ホームページ(一例)

令和5年度 標柱設置箇所		
NO	標柱	標柱名称
1	93	大館城本丸跡
2	94	二ノ丸
3	95	城南小学校校門
4	96	東大館駅
5	97	小坂鉄道大館駅跡
6	98	長坂一里塚
7	99	早口川徒渡り
8	100	十二所城本丸跡
9	101	十二所境口番所跡
10	102	成章書院跡



左:QRコード
どこでも博物館の
ホームページとリンク



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市中心部にある城下町から離れた地域には、本市が誇るべき趣のある田園や山並みの風景、建造物などが数多く存在する。そこで、その地域における歴史や文化に光をあて、市民と一体となって、地域の魅力を発信できるガイドブックを作成する。		
定性的・定量的評価（自由記述）			
これまで大館のまちなみを多く描いてきた、大館市出身の田村まさよし氏の水彩画の画集が完成し発行された。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		市民をはじめ多くの人に、水彩画を通して大館のまちなみに触れてもらい、まちの景観への想いを醸成する。	

○田村まさよし氏 水彩画画集「水彩画でつづる おおだて」



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史案内人育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
出前講座や小学生の地域体験学習、高校生の職場体験及び大学生のインターンシップ等の要請にあたり、研修内容に歴まち散歩を企画し、大館の魅力を伝える大切さをPRした。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○出前講座等の開催(大館市の歴史まちづくり)



西館小3年生校外学習
(令和5年10月4日)



大館南地区行政協力委員会出前講座
(令和5年8月4日)

○博物館講座の開催

令和5年度 受講者募集中

おおだて博物館講座

大館をはじめとする本県地方の自然、歴史、技術などについて、学芸員やゲスト講師等による講座を開催します。

オンライン(Zoomウェビナー)でも受講可能ですので、興味のある方は是非お申し込みください。

※オンライン受講、会場観覧いずれも先着順での受付となります。

開催日時 2024年2月17日(土) 13時10分～

場 所 大館市立地区コミュニティセンター本館 研修室
(大館市南東一丁目4-13)

- 【大館市立地区コミュニティセンターでの観覧を希望する方】は・・・
 観覧(9時30分～12時15分)申込用メール(oyadate@city.odate.lg.jp)で、
 ①氏名と連絡先の電話番号またはメールアドレス②観覧希望の回数の上、
 開催日の上、③お申し込みください。
 (ただし、定員(15名)に達した場合の抽選となります。)
- 【オンラインでの観覧を希望する方】は・・・
 メール(oyadate@city.odate.lg.jp)で①氏名と連絡先のメールアドレス
 ②観覧希望の回数の上、開催日の上、③お申し込みください。
 (ただし、定員(15名)に達した場合の抽選となります。)
- 【観覧券を希望する方】は・・・
 申込不要です。
 大館市はYouTubeチャンネルにて1月8日より月々公開します。
 公開時間 大館市立地区コミュニティセンター本館2階で公開します。

おおだて博物館講座 ホームページ <https://www.city.odate.lg.jp/kyouka/kyouka.html>

博物館 メールアドレス oyadate@city.odate.lg.jp

開催日	期次	講座	講師	申込期限 (YouTube)
2月17日 (土)	講座	13:10～ 13:25	開会・奉迎	2月1日 (土) ー 2月3日 (日)
		13:25～ 14:15	「歴史講座」 学芸員・講師と地域の歴史	
	第1部	14:15～ 14:30	ムロツギスミの歴史と大館市 ーおだて市史よりー	
		14:30～ 14:45	大館市史を学ぶ	
2月19日 (日)	第2部	14:45～ 15:00	大館市史を学ぶ	2月1日 (土) ー 2月3日 (日)
		15:00～ 15:15	大館市史を学ぶ	
	第3部	15:15～ 15:30	大館市史を学ぶ	
		15:30～ 15:45	大館市史を学ぶ	

主催：大館市立博物館

お問い合わせ：大館市立博物館(大館市教育委員会歴史文化課) 3620-63-7133
 会場：大館市立地区コミュニティセンター本館2階(観覧券は観覧し、申込不要)



おおだて博物館講座
(令和6年2月17日)

評価軸③-13

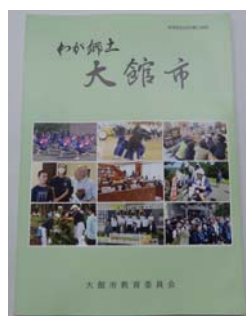
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
小・中学校社会科副読本作成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和43年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環として、小中学校の児童生徒が本市の歴史や暮らしについて、より理解を深めることができる分かりやすい社会科副読本を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
中学校の社会科副読本「わが郷土大館市」は令和4年4月に全面改訂、小学校の社会科副読本「わたしたちの大館市」は令和3年4月に全面改訂、令和5年度の改定は無かった。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

中学校 社会科副読本
「わが郷土大館市」

初版	昭和56年3月20日	
8版	平成20年4月1日	部分改定
9版	平成24年4月1日	部分改定
10版	平成29年4月1日	部分改定
11版	令和4年4月1日	全面改訂

小学校 社会科副読本
「わたしたちの大館市」

初版	昭和44年3月20日	
12版	平成19年10月1日	部分改定
13版	平成23年4月1日	部分改定
14版	平成28年4月1日	部分改定
15版	令和3年4月1日	全面改訂



参考 社会科副読本と併せて活用できる「ふるさと大館名所手帳」
大館市の小中学生に中学校を卒業するまでの間に市内の主な名所を訪れ、ふるさととの歴史や文化に親しんでもらえるようにとの願いで作成された

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	昭和59年度～令和8年度
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業・地域文化財総合活用推進事業 伝統文化親子教室事業(地域展開型・教室実施型) 市単独事業
計画に記載している内容	市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や大館市郷土芸能保存協会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。また、次代を担う子どもたちへ、郷土芸能や生活文化などを体験できる機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述)	
民間4団体から構成する「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」の大館神明社例祭余興奉納実行委員会は、令和4年度に作成した大館神明社例祭余興奉納行事PR動画及び、教則映像を活用し、次世代を担う子どもたちに継承するため市内の小中学校で講習会を実施した。	

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成30年度～令和4年度(5か年)の取り組みについて、評価を行うとともに成果等を広く周知する。また、参加団体の募集を継続する。

状況を示す写真や資料等

○地域文化財総合活用推進事業(令和5年度活動実績)

団体名	活動事業名	事業区分	令和5年度活動実績
大館・北秋田建築士会	ヘリテージマネージャー育成(人材育成)	人材育成	スキルアップ講座講座
大館神明社例祭余興奉納行事実行委員会	大館神明社例祭PR	後継者養成	大館神明社例祭のPR及び講習会の開催
大館ばやし保存会	大館囃子講習会開催(後継者養成)	後継者養成	講習会の開催



椅子を太鼓代わりにして、演奏を体験する児童(城西小)

大館市城西小学校(城西小)で、大館市無形民俗文化財「大館囃子」の演奏を体験する児童が、椅子を太鼓代わりにして、演奏を体験する様子。児童たちは、椅子を太鼓代わりにして、演奏を体験する様子。児童たちは、椅子を太鼓代わりにして、演奏を体験する様子。

大館ばやし保存会講習会
(北鹿新聞 令和5年9月8日)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意のもとに、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
令和5年度地域応援プランにおいて、採択された2団体のまちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○地域応援プラン取り組み活動(令和5年度実績)

項目	地域	地区	団体名	活動テーマ
ステップアップ	大館	長木	上代野町内会	旧岱野駅周辺整備・環境美化による、ドーム周辺緑地、樹海公園、桜並木等と一体となった名所の創造。(「あじさいレールロード10年プラン」)
活動支援	比内	東館	駒橋会(2年目)	湧水の再生を核としたビオトープの整備と、地域の親水・憩いの場の創出による地域活性化



あじさい苗の植樹
(上代野町内会)



水車・小屋・通路設置
(駒橋会)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
天然記念物(秋田犬)の保存及び育成支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和54年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 天然記念物秋田犬は、秋田犬保存会により保護や繁殖、普及活動が行われている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国・海外から愛犬家が訪れる。近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

秋田犬保存会県北支部の第88回展覧会が令和5年11月3日に大館市観光交流施設秋田犬の里で開かれた。観光客が見守る中、23匹の秋田犬が姿を披露した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大館城本丸跡の修景整備にあたり、歴史ある秋田犬本部展覧会に相応しい舞台となるよう秋田犬保存会と意見交換を重ねる。

状況を示す写真や資料等

〇課題となっている秋田犬保存会員数や犬籍登録数の推移

会員数(人)					
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1月	413	324	83	150	321
2月	629	401	100	201	441
3月	949	413	243	391	608
4月	1,336	65	540	715	1,172
5月	1,850	0	859	1,559	1,695
6月	1,144	502	717	1,114	1,159
7月	964	783	725	829	979
8月	1,943	936	863	1,319	2,260
9月	1,174	966	628	1,036	1,120
10月	1,307	992	723	1,338	1,285
11月	941	1,030	596	909	1,081
12月	360	319	173	379	372
計(人)	13,010	6,731	6,250	9,940	12,493
増減	-33.9%	-48.3%	-7.1%	59.0%	25.7%

犬籍登録数(頭)					
	平成元年	平成2年	令和3年	令和4年	令和5年
国内	2,591	2,312	2,450	2,185	1,832
海外	1,519	1,279	1,019	1,035	867
計	4,110	3,591	3,469	3,220	2,699
増減	-14.8%	-12.6%	-3.4%	-7.2%	-16.2%

秋田犬博物室の観覧者数の推移

秋田犬犬籍登録数の推移

県北支部展
秋田犬保存会 幼～成犬23匹が審査

秋田犬保存会県北支部(富樫孝支部長)の第88回展覧会が3日、大館市観光交流施設・秋田犬の里で開かれ、県内外の計23匹が審査に臨み、美しい姿を披露した。
出陣は月齢別に犬6匹、若犬7匹、壮犬3匹、成犬7匹。

堂々とした姿で審査を受ける秋田犬(秋田犬の里芝生広場)

四。審査に前に一般観客などの6匹も参加した。審査は毛色や体格、歯並び、歩き方等の基準に従って1匹ずつチェック。芝生広場で70人近い観客が見守る中、23匹が物おせずに堂々とした姿を見せた。
大館市生まれの忠犬ハチ公ほしい」と話した。

が今年で主催100年を迎える。秋田への関心は高まる一方、県が秋田犬の図柄付きナンパフレッツを10月から交付しなどから、富樫支部長は開会で「市も県も秋田犬を応援している」と感謝している。大いに宣伝してほしい」と話した。

掲載紙：北鹿新聞
掲載日：令和5年11月4日

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統的工芸品の「大館曲げわっぱ」の製造における基本的な技術は、伝統工芸士が受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工房の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。また、原材料である天然秋田杉の供給が難しい現状を受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。

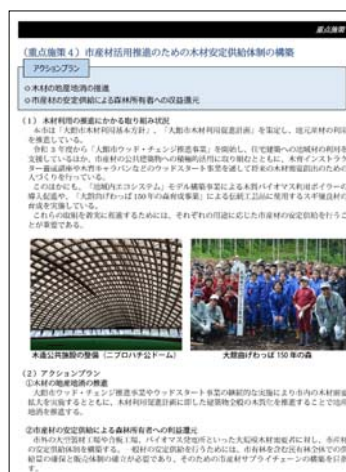
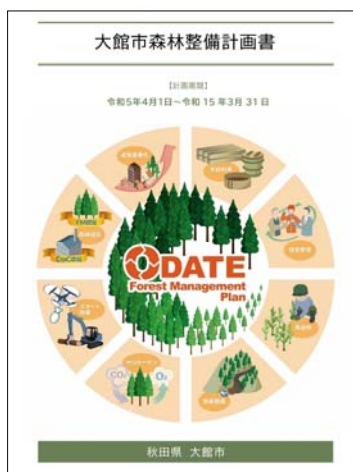
定性的・定量的評価(自由記述)

令和5年度に新たな「大館市森林整備計画書」が樹立されました。この計画の重要政策である市産材活用推進のための木材安定供給体制の構築において、木材利用推進にかかる取り組みの一つである「大館曲げわっぱ150年の森育成事業」を今年度も開催しました。参加した小学生が下刈り体験と森林教室を通じて、地元の伝統文化と木を育てることの大切さについて理解を深めてもらう良い機会となった。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も本事業を継続し、「大館曲げわっぱ」を次の世代に引き継いでいく

状況を示す写真や資料等

○大館市森林整備計画書



○大館曲げわっぱ150年の森育成事業

この事業は天然秋田杉人工材の育成を行い、大館市が誇る伝統工芸品「大館曲げわっぱ」を次世代へ継承していくとともに、ふるさとキャリア教育の一環として小学生が植栽や除間伐などの体験を通して、地元の伝統文化と森林環境保全・保護を大切に思う心を育むことを目的としている。



「大館曲げわっぱ150年の森」

「下刈り体験学習」
令和5年7月19日

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
文化財の保存・活用と今後の方針・計画など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	これまでの調査研究を生かしつつ、現状と実態の把握に努め、収集した情報をデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、市の指定に向けて取り組む。歴史的建造物は、以前に行われた調査の結果を活用し、詳細な調査を行う。無形民俗文化財については、次世代に伝えるための調査・記録保存を継続する。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
・市内の文化財の状況を把握するため、大館市文化財保護審議会で市内の文化財を視察した。 ・大館囃子など無形民俗文化財については、過年度に作成したDVDを活用して次世代へ伝承した。 独鈷囃子については東館小学校と連携して伝承に取り組み、運動会でも披露された。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・無形文化財を伝承していくためには後継者の育成が必要であるが、少子化により後継者不足が懸念されている。それだけに、多くの市民の理解や応援が必要であり、文化財保存の機運の醸成を継続する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

○無形文化財の伝承



市指定文化財「大館囃子」の伝承の様子
(大館神明社例祭余興奉納実行委員会提供)



神明社祭典における「大館囃子」の様子
(大館神明社例祭余興奉納実行委員会提供)



市指定文化財「代野番楽」の様子
(代野番楽保存会提供)



市指定文化財「独鈷囃子」の伝承の様子
(東館小学校提供)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境保全事業、防災に関する取り組みなど			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理にあたっては、法令等に基づき、また文化庁等の関係機関の指導を受けつつ整備を行う。また、修理事業等の支援や各種財団等の補助制度の活用について助言を行う。文化財の周辺環境については、周辺の環境と調和のとれたものとする。防災については、防災教育、訓練に取り組む必要があるため、文化財防火デーの取り組みにより、防火意識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
・鳥潟会館土間の屋根から雨漏りがあったため応急処置を施した。 ・重要文化財八幡神社ならびに国登録有形文化財桜櫓館において、文化財防火デーに消防訓練を行った。また鳥潟会館と大館郷土博物館では、いざというときに迅速な対応ができるように各施設でそれぞれ2回消防訓練を実施した。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・各文化財施設はシフト勤務体制をとっており、かつ1人勤務であることが多い。いざというときに人少人数で対応せざるを得ないこともあり、適切に対応できるように訓練を継続する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

○鳥潟会館屋根の応急処置



屋根応急処置
(令和6年1月19日完了)

○鳥潟会館消防訓練



秋田県指定文化財 鳥潟会館
(令和6年3月29日)

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
文化財関係施設では、定期的なガイドツアーなどを行い、文化財への理解を深める機会を提供している。これまでまでの活動とあわせて、歴史案内人の育成や、講演会・シンポジウムを開催し、文化財の保護と活用の意識を高めるための事業に取り組む。また、埋蔵文化財包蔵地については、秋田県教育委員会の指導を仰ぎながら、開発に係る事業者などと十分な協議のうえ、その保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述)		
・大館郷土博物館の企画事業等を6回開催した。(2,393人) ・出前講座や講演会等を11件開催した。(729人) ・おおだて博物館講座を開催した。(20人) ・長走風穴と鳥潟会館で文化財を巡るガイドウォークを開催した。(20人) ・旧庁舎解体に係る大館城跡発掘調査について、平成28年から7次にわたる調査が7月末で完了した。 また各種開発に対する本発掘調査及び試掘・確認調査(計13箇所)を実施した。		
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・市内の文化財関係施設ではクマの出没が相次いでおり、一部区画の立ち入り規制を実施した。見学者の安全を図りながら、工夫して普及・啓発に努める必要がある。 ・市内には、未発見の埋蔵文化財包蔵地がまだ多く存在する可能性があり、各種開発に対応するためにも、踏査や試掘などにより、さらなる埋蔵文化財包蔵地の分布の把握に努めていく必要がある。

○大館郷土博物館(企画事業)

NO	事業名	期間	入館者数 (人)
1	大館佐竹家資料お披露目展	5/3～5/21	183
2	昭和・平成ロマン派 油絵から陶芸まで展	7/22～8/27	524
3	秋季企画展 大館の縄文土器	8/31～11/5	476
4	無料開放デー(文化の日)	11/3	49
5	おひなさま展	2/9～3/20	958
6	おひなさま茶会	3/3	203
計			2,393



鳥潟会館ガイドウォーク
令和5年11月3日

		評価対象年度	令和5年度
項目			
HACHI100プロジェクトについて			
計画に記載している内容	歴史的風致の維持及び向上する取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながり、歴史的風致の価値が高まるとともに、地域活性化や交流人口の拡大が期待できる。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
ハチ公生誕100年を祝う「HACHI100プロジェクト」が始動し、様々なイベントが開催されました。 ハチ公の縁で繋がった大館市と渋谷区により、ハチ公を通じた縁を国内外に広げるきっかけとなった。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等

○2023年に開催した主要イベント

- ・8月5日(土)～6日(日) ハチ公生誕100年フェスティバルin渋谷 会場:渋谷キャスト(東京都渋谷区)
- ・8月11日(金) 大館うたの日 会場:ニプロハチ公ドーム(秋田県大館市)
- ・11月11日(土)～12日(日) ハチ公生誕100年フェスティバルin大館 会場:ニプロハチ公ドーム(秋田県大館市)



ハチ公生誕100年フェスティバルin渋谷



大館うたの日



ハチ公生誕100年フェスティバルin大館

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称 : 大館市歴史的風致維持向上協議会(第11回)	
会議等の開催日時 : 令和6年3月22日(金) 午前10時30分～午後12時00分 ①歴史まちづくりの取り組み状況について(令和5年度) ②景観計画の策定状況について ③共同研究の成果について ④鳥潟会館庭園の名勝指定に向けた取り組みについて	
(コメントの概要) ②景観計画の策定状況について ○大館では歴史まちづくりを先に推進し、その後で景観法の策定に取り組んでいるため、いい意味で一周遅れのトップランナーではないが、規制するだけでなく、作り返していくことが大事になる。 ○北国の特徴である「雪と景観」を絡めた景観計画であってほしい。 ○来訪者から見た「大館の景観」への視点も反映してみてもどうか。	
(今後の対応方針) ○大館城本丸跡の桂城公園について、城址公園にふさわしい景観形成を目指し、修景整備を進める。 ○景観計画策定にあたり、各地域の魅力の個性化が実現できるよう意見交換会やワークショップを重ね、また関係部署と横断的に取り組んでいく。	